

# 道教關係著書論文目録

2018（平成30）年

酒井規史・山下一夫 編

## 前 言

1. 本目録には、2018年1月から12月までの期間にわが國で刊行された、道教及びその周邊領域に關する著書・論文・書評等を收めた。
2. 雑誌等に掲載された譯注類は「II. 論文」に、學會報告等については「III. 書評等」に、それぞれ收めた。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とし、複數名による執筆の場合は、第一執筆者に準據した。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一した。
4. 連名による〔譯注〕等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ〔譯注〕等と記した。
5. 本誌の過年號「目録」で掲載されたことのある執筆者の場合は、對象領域が些か外れている場合でも敢えて掲載したものがあつた。
6. 十分な注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お気づきの點をご教示頂ければ幸いである。

### I. 單行本

秋岡 英行 垣内 智之 加藤 千恵	煉丹術の世界：不老不死への道 大修館書店（あじあブックス）
阿部 泰郎〔編〕 吉原 浩人	南嶽衡山と聖徳太子信仰 勉誠出版
伊藤晋太郎 浦山 きか	「關帝文獻」の研究 汲古書院 漢文で讀む『靈樞』～基礎から應用まで～改訂増補版 森ノ宮醫療學園出版部
エドゥアール・シャ ヴァンヌ〔著〕 菊地 章太〔譯注〕	古代中國の社：土地神信仰成立史 平凡社（東洋文庫）
王 小林 川原 秀城	古事記と東アジアの神祕思想 汲古書院 數と易の中國思想史：術數學とは何か 勉誠出版

- 齋藤 茂〔譯注〕 『夷堅志』譯註乙志下 汲古書院  
 田淵 欣也  
 福田知可志  
 安田 眞穂  
 山口 博子  
 志賀 市子〔編〕 潮州人：華人移民のエスニシティと文化をめぐる歴史人類學  
 風響社
- 高橋 稔 「玄怪録」と「傳奇」：續・古代中國の語り物と説話集—志怪  
 から傳奇へ— 東方書店
- 武田 時昌 術數學の思考：交叉する科學と占術 臨川書店（京大人文研  
 東方學叢書）
- 遠山 尙 神祕の易經：周易が教える宇宙觀と世界觀 明德出版社  
 中村 士 古代の星空を読み解く：キトラ古墳天文圖とアジアの星圖  
 東京大學出版會
- 二階堂善弘〔監譯〕 『全譯 封神演義』第4卷 勉誠出版  
 山下 一夫〔譯〕  
 中塚 亮  
 二ノ宮 聰  
 東アジア恠異學會  
 〔編〕 恠異學の地平 臨川書店
- 福浦 厚子 都市の寺廟：シンガポールにおける神聖空間の人類 春風社  
 南澤 良彦 中國明堂思想研究：王朝をささえるコスモロジー 岩波書店  
 麥谷 邦夫 六朝隋唐道教思想研究 岩波書店  
 吉元 昭治 圖說道教醫學：東洋思想の淵源を學ぶ 勉誠出版

## II. 論文

- 秋山陽一郎 敦煌唐鈔本《太公六韜》(P. ch. 3454) 解題および釋文 (上)  
 『人文學論集』36
- 有澤 晶子 見立の表象からみる『內經圖』考 『文學論藻』92
- 淺野 春二 臺南道教の進表符について 『儀禮文化學會紀要』6
- 石野 一晴 清末の「巡禮ガイドブック」『參學知津』から見た僧侶の巡  
 禮 『洞天福地研究』8
- 伊藤晉太郎 「關帝文獻」出版の目的：『關帝事蹟徵信編』光緒八年序重刊本  
 を例として 『二松學舍大學東アジア學術總合研究所集刊』48
- 于 曉飛 中國少數民族ホジェン族の敘事詩に謠われる「神の樹」  
 『アジア遊學』228
- 薄井 俊二 明代の地理家王士性について 『埼玉大學紀要（教育學部）』  
 67-1

- 薄井 俊二 明代士人の龍脈説：風水説との關わりで 『東方宗教』 131
- 薄井 俊二 中國の山と宗教見聞記(その8) 徐霞客の足蹟を訪ねる：福建九鯉湖・玉華洞、貴州 『埼玉大學國語教育論叢』 21
- 薄井 俊二 徐弘祖の地理・地學思想初探：地の「脈」の説を中心に 『埼玉大學紀要(教育學部)』 67-2
- 王 旭東 「陽性的」鬼・赤鬼：六朝時代までの中國鬼觀念の一側面 『東アジア比較文化研究』 17
- 大形 徹 仙人の飲食 『人文學論集』 36
- 大形 徹 字説：口耳の口 『漢字學研究』 6
- 大形 徹 中國の古典に學ぶ生と死 道教や民間信仰における死生觀 『懷德』 86
- 川野 明正 中國獅子像の地方類型と分布(その2) 南獅篇 『人文學報』 514
- 菊地 章太 媽祖説話の生成と變容 『東洋學研究』 55
- 菊地 章太 北限の地から媽祖崇拜を考える：民間信仰と道教の連續性 『名古屋大學中國哲學論集』 17
- 魏 斌<sup>[著]</sup> 句容茅山の興起と南朝社會 『洞天福地研究』 8
- 土屋 昌明<sup>[譯]</sup>
- 黒田 秀教 懷德堂無鬼論の再検討：祖靈を軸にして 『東方宗教』 131
- 項 青 「月中の桂」の正體をめぐる一考察 『アジア遊學』 228
- 小南 一郎 秦の祀天儀禮(上) 『泉屋博古館紀要』 34
- 酒井 規史 第五十九福地「張公洞」と周邊地域の宗教關連遺蹟の現況 『洞天福地研究』 8
- 佐々木 聰 異と常：漢魏六朝における祥瑞災異と博物學 東アジア恠異學會編 『恠異學の地平』
- 佐々木 聰 清末刊『張天師法病書』と近世における三十日病占の展開 『人文學論集』 36
- 佐藤 浩司 臺灣における道教とシャーマニズム 『天理臺灣學報』 27
- 佐野 誠子 『天地瑞祥志』第十四神項所引志恠佚文について：八部將軍と四道王 『日本中國學會報』 70
- 新巴 雅爾 モンゴルの樹木信仰 『アジア遊學』 228
- 仙谷 知子 『列女傳』研究序説：中國近世における流布と受容 『東洋の思想と宗教』 35
- 田中 文雄 一行禪師説話の背景と假託經典 『豐山教學大會紀要』 46
- 趙 ウニル 王弼の始終論 『中國思想史研究』 39
- 土屋 昌明 唐長安の東明觀について 『洞天福地研究』 8

- 中田 美繪 唐代政治史上の會昌の廢佛：ジェンダー秩序・宗教・外來人の視點から 『唐代史研究』 21
- 名和 敏光 『抱朴子』 所見呪語の邇及考察 『東方宗教』 131
- 二階堂善弘 東南アジアの華人廟における『封神演義』の影響 『東アジア文化交渉研究』 11
- 蜂屋 邦夫 老子隨想(41)～(48) 『大法輪』 85-1～8
- 潘 寧 近代以降における中國神話の研究史概観：一八四〇年代から一九三〇年代を中心に 『アジア遊學』 217
- 福田 素子 もしも子供から「お前は前世で私を殺した」と言われたら：討債鬼故事の日中比較 『東アジア比較文化研究』 17
- 松金 公正 「廟」の中に「寺」を、「寺」の中に「廟」を：『古義眞言宗臺灣開教計畫案』の背景にあるもの 『アジア遊學』 222
- 松下 道信 白玉蟾と茶と酒：一あるいは一道士の覺醒と酩酊一 『學藝國語國文學』 50
- 三浦 國雄 『北斗本命延生經』傳洞眞注初探 『東方宗教』 131
- 三浦 國雄 吉田神道と『北斗本命延生經』徐道齡注 『洞天福地研究』 8
- 水口 拓壽 臺灣における「孔子廟と日本」の百二十年：統治者たちの視線をたどって 『宗教學論集』 37
- 水野 杏紀 「祇園祭 長刀鉾の鉾建にみる宇宙」(陰陽五行、四神、八珍果、二十八宿、三十六禽)：建方・資材方・車方などの關係を踏まえて 『人間社會學研究集録』 13
- 山下 一夫 臺灣南部における影繪人形劇の上演について：中元節を中心に 『中國都市藝能研究』 16
- 山田 俊 明昌二年碑文「太上玄靈北斗本命延生經」について 『文彩』 14
- 山田 俊 金朝道教「眞元派」再考 『熊本縣立大學文學部紀要』 77
- 山田 俊 「草衣子」小攷 『名古屋大學中國哲學論集』 17
- 湯淺 邦弘 時令説の展開：北京大學竹簡『陰陽家言』、銀雀山漢墓竹簡『陰陽時令・占候之類』を中心として 『漢字學研究』 6
- 横手 裕 茶と道教修行：宋金内丹家の考える茶の功罪 『學藝國語國文學』 50
- 吉川 忠夫 本草餘聞 『杏雨』 21
- 吉原 丈司 臺灣宗教史研究の先驅者：増田福太郎博士關係資料一斑 『アジア遊學』 222
- 劉 曉峯 樹木の生命力と時間の想像 『アジア遊學』 228

廖 娟 江戸日本における「古易」問題：宋元中國と比較して 『中國：社會と文化』 33

### III. 書評等

- 池平 紀子 第二回日佛中國宗教研究者會議參加報告 『東方宗教』 131  
石野 一晴  
神塚 淑子 池田知久・水口擇壽編『中國傳統社會における術數と思想』  
『東方宗教』 131
- 神塚 淑子 神塚淑子教授最終講義 中國宗教思想研究四十年 『名古屋大  
學中國哲學論集』 17
- 川田 牧人 江川純一・久保田浩編『「呪術」の呪縛』上卷・下卷 『宗教  
研究』 92-1
- 倉本 尙徳 書評：神塚淑子『道教經典の形成と佛教』 『唐代史研究』 21  
志賀 市子 野村伸一編著『東アジア海域文化の生成と展開—く東方地中海>としての理解』 『東方宗教』 131
- 瀧澤 克彦 櫻井義秀編著『現代中國の宗教變動とアジアのキリスト教』  
『宗教研究』 92-3
- 谷垣真理子 書評 志賀市子編著『潮州人：華人移民のエスニシティと文化をめぐる歴史人類學』 『華僑華人研究』 15